

添付資料1

事業計画書

事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決事業 <input type="checkbox"/> 提案型協働事業(継続団体のみ)
事業名称	演劇の街下北沢で中高生に演劇体験を カルチベートプロジェクト
事業概要 (300字以内)	舞台制作のプロがキュレーターとなり、下北沢や三軒茶屋など世田谷区内の中高生を実際の劇場へ招待します。プロの俳優によるワークショップでは演劇の枠を超えたコミュニケーションを学び、劇団協力のもと制作スタッフとの対話機会も創出。著名な演劇人による講演会で事業を広く PR し、地域住民やファンが支援することで、学校、生徒、保護者、劇団関係者が交わる多層的なコミュニティを形成します。演劇の街から発信するこの取組を、次世代育成と地域活性化を両立する文化事業のモデルケースとして確立。日本各地の劇場文化を持つ地域へと波及させ、演劇を通じた豊かな社会基盤づくりを目指します。
1 課題解決	
解決を目指す地域課題や社会的課題	「演劇の街」として知られる下北沢ですが、実態として地域住民、特に次世代を担う中高生が地元の劇場に足を運ぶ機会は極めて限定的です。この「地域資産と住民の乖離」が第一の課題です。近年の観劇料高騰は、家庭の経済状況に関わらず「体験の機会格差」を生んでおり、多感な時期に舞台芸術という生きた文化に触れないまま大人になってしまう子どもが増加しています。本事業は、この「体験格差」と「地域文化からの孤立」を重要な社会的課題と捉えます。小劇場の濃密な空間で多様な表現に触れる機会を均等に提供することで、子どもたちの創造性や感受性を育むとともに、地域への愛着と文化的関心呼び起こし、持続可能な地域文化の継承を目指します。
期待される具体的な区民・地域への波及効果	クラウドファンディングを通じて地域住民や演劇ファンがプロジェクトを支援することによって、地域全体で次世代の育成を支えるという意識が高まります。また「演劇を通じた次世代育成」が下北沢の文化的なイメージを高め、下北沢ブランドの向上につなげます。
実施場所	下北沢、三軒茶屋周辺を主とする世田谷区内の劇場
事業の対象者・予定人数	中高生 100名 (観劇招待 60名 ワークショップ等 40名)
2 成果目標	
成果目標	中高生 参加人数 100名 (観劇招待 60名 ワークショップ等 40名) 参加者の感想や、対象公演、協力してくださった劇団、制作からの声をまとめ冊子にまとめる
成果目標の測定方法	目標人数への達成度 完成した冊子を参加した中高生、協力団体に配布し、本事業に対する評価アンケートを実施する
3 将来性	
今後の展開 *事業の発展や自立に向けての目標・考え方など	初年度の反省点として、観劇したその後にお話会のような形で感じたことを時間を空けずに語り合うことに意義があるとわかった。 よって本年度は可能な限り、観劇と感想や聞きたいことをプロの方から聞ける場をセットで企画したい。また、本事業を知った演劇界の人から、素晴らしい事業なので発展してほしい、協力するという声をいただいた。事業をさらに発展、確立するために、演劇関係者を巻き込んでいきたい。
4 実現可能性	

事業実施期間	令和 8 年 6 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
実施内容 (いつ、だれが、どこで、何を、どのように行うのか、実施する内容を具体的に記載ください)	※補助事業選定後、事業開始から終了までスケジュールをご記入ください。	
	実施月	内 容
	6 月	招待第一弾選定 キュレーター 劇団、興行主へ交渉
	7 月~12 月	対象公演の選定。中高生の募集。各公演でのアテンド、お話会の運営
	9~11 月	クラファン活動 事業 PR 区民利用・交流拠点での事業プロモーション 著名な演出家 or 脚本家による講演会
	11~12 月	ワークショップ 企画開催
1-3 月	事業報告書作成	
トラブルへの対応 (想定されるリスクとその対処方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの中高生が興味関心を持つ、お笑い系の方の演目はチケットが即日完売になることが多く、情報公開前からの交渉が必要ということがわかった。事業の採択、クラファンの目標金額を相俎しながら、招待チケットを手配していきたい。 ・体調不良や学校行事、部活等による急なキャンセルが発生することがあり、その場合は大学生の演劇関係者を探し、空席が出ないようにする。 ・中学生の場合は安全確認のため、受付、解散時に保護者にメールで知らせるようにする。 ・演目によって、トリガーアラート(性的描写や暴力表現のあるもの)あり、選定に当たっては高校生に限定するなど事務局で配慮する。 	
7 クラウドファンディング		
総事業費	1,534,500 円	※事業収支計画書【収入】合計・【支出】合計と同額
補助金目標額	1,500,000 円	※事業収支計画書【支出】補助対象経費計と同額
寄附目標金額	1,000,000 円	
寄附金上限設定額	(設定する場合入力)	円
実施希望時期 (最大3か月)	令和 8 年 9 月 1 日 ~ 令和 8 年 11 月 31 日	
寄附を募るターゲット層	演劇愛好家、地域住民、下北沢に関心のある人、青少年の育成に関心のある人	
広報活動計画	HP、SNS 等、積極的に情報発信 地域メディアの利用、下北沢の地域イベントでの告知、演劇関係者に協力を依頼、SNS での拡散等 小規模なトークショーや、ワークショップの実施等	
8 クラウドファンディング		
寄附目標額を達成しなかった場合の対応	招待人数を減らす、ワークショップの規模を小さくする。 人件費削減	
寄附目標額を超えた場合の対応	招待人数を増やす、ワークショップの回数を増やす。	

【継続事業のみ入力】

4 前年度成果

団体名	一般社団法人北沢おせっかいクラブ
-----	------------------

前年度成果目標	※前年度提案書記載内容 中高生へ演劇鑑賞による文化体験の提供	
前年度成果目標の測定方法	定量的目標 招待実績人数、応募者数（プロジェクトへの関心度を示す指標）定性的目標 参加者アンケート（参加者の鑑賞後の行動変容も追跡する）	
前年度成果目標に対する結果	中高生 103 名を下北沢、三軒茶屋、千歳烏山の劇場の公演に招待 2/1 ワークショップ実施 参加者 6 名	
5 前年度クラウドファンディング		
前年度寄附目標額 （補助金目標額）	1,000,000	円（補助金目標額:1,300,000 円）
前年度寄附金額 （補助金交付額）	1,363,000	円（補助金交付額:1,530,400 円）

団体名

一般社団法人北沢おせっかいクラブ

5 協働

【提案型協働事業のみ入力】

協働する必要性	
役割分担 (提案団体)	
協働事業を継続する理由	
将来の展開	

【提案型協働事業のみ 区事業担当課入力欄】

区担当課名	
協働する必要性	
役割分担 (区担当課)	
将来の展開	

団体名	一般社団法人北沢おせっかいクラブ
-----	------------------

事業収支計画書

☆今回提案する事業に要する予算のみ(×団体の年間予算)を入力してください。

【収入】

費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
自己資金		34,500	
区補助金		1,500,000	
他補助金			
【収入】合計		1,534,500	※事業計画書「総事業費」、【支出】合計と同額

【支出】

☆補助事業以外にかかる経費(他事業に要する人件費・消耗品費、事務所賃借料、光熱水費等)は補助対象外です。必ず、募集要領5. 補助対象経費をご確認の上、ご作成ください。

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
人件費	事業運営アルバイト	260,000	@1300*40h*5ヶ月
	庶務アルバイト	156,000	@1300*20h*6ヶ月
	[小計]	416,000	
報償費	講演料	110,000	著名脚本家もしくは演出家による講演料(仮題) 中高生の時期に演劇との出会いがその後の人生にどんな影響を与えるか 講演時間 2時間前後 可能なら講演後に代表との懇談希望 対象 世田谷区内在住の中高生50名想定 講師はケラリーノサンドロビッチ氏に現在交渉中
	[小計]	110,000	
	交通費	打合わせ等移動交通費	10,000
	[小計]	10,000	
需用費	鑑賞券	300,000	中高生60名予定 @5000円*60
	鑑賞券 大人引率	80,000	演目 10公演想定 @8000円
	製本印刷費	15,500	チラシ印刷 10000部 @3円 30,000円 シール印刷@50 400枚 20,000円
	製本印刷費	20,000	まとめ冊子 A4 8p 500部 @40円
	事務消耗品費	10,000	チラシ配送用角封筒 @20*200=4000 プリンターインク 2色 4,000円 USBメモリ 2,000円
	ワークショップ当日スタッフお茶弁当	10,000	@1000円 10名

補助対象経費

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
	[小計]	435,500	
役務費	広告費 SNS投稿	22,000	ワンクリック@22*1000 @660 * 20件
	振込手数料	13,200	
	[小計]	35,200	
委託料	キュレーション業務	220,000	委託先:(株)明後日 専門家による演目選定キュレーション 劇団との交渉 委託先:選定中 実施1回
	ワークショップ委託費	165,000	
	[小計]	385,000	
使用料・賃借料	ワークショップ会場費	30,000	タウンホールスカイサロン 30000円 区民施設 @1050*10 レンタルスペース 1時間 5,000円 4時間 20000円
	お話し会会場費	30,500	
	[小計]	60,500	
その他	通信費	30,000	チラシ配送費宅急便 児童館 青少年会館等 劇場等 @1500 * 20件 チラシ郵送 定形外郵便@270 *50 事務局連絡用 レターパック@430*10
	通信費	13,500	
	通信費	4,300	
	[小計]	47,800	
【補助対象経費 計】		1,500,000	※事業計画書「補助金目標額」と同額
費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
補助対象外経費	製本印刷費より	34,500	チラシ印刷 10000部 @3円 30,000円 シール印刷@50 400枚 20,000円
	[補助対象外経費 計]	34,500	
【支出】合計		1,534,500	※事業計画書「総事業費」,【収入】「合計」と同額

☆必要に応じて、行を増やして作成してください。

添付資料 3 6 実施体制

団体の概要

設立年月日 (活動開始)	2013 年 5 月 1 日			
法人番号 (該当団体のみ)	7010905003222			
団体の設立目的	<p>世田谷区北沢地域の子育て環境の向上、青少年の健全育成を図るとともに、世田谷区北沢地域における世代間交流を促進し、地域の活性化に貢献することを目的とし、以下の事業を行う。</p> <p>(1) 地域の子育て環境の向上のための活動 (2) 地域の世代間交流を促進するための活動 (3) 地域の青少年の健全育成を図る活動 (4) その他本会事業の目的を達成するために必要とされる活動</p>			
主な活動分野	地域の子育て支援、青少年の健全育成			
社員数・会員数 (うち世田谷区 在住)	10 人 (うち世田谷区在住 10 人)			
会費	有 (年額 2000 円)			
主な活動地域	世田谷区北沢地域			
主な活動実績	<p>※現在取り組んでいる主な事業について、その内容を詳しく記載してください。</p> <p>①地域子育て支援拠点 ・おでかけひろば ぼっこ 及び おでかけひろば cobacoの運営</p> <p>②子ども食堂の運営 2014 年より 北五食堂 (北沢 5 丁目)</p> <p>③cobaco フードパントリー 2020 年より活動開始</p> <p>① 地域の子育て支援に関わる事業</p> <p>*小田急電鉄との協働による親子イベント シモキタ おやこのまちつどい市 年 4 回実施現在 21 回 (規模) 参加者 下北沢周辺在住の親子約 1000 人規模</p> <p>b) ふれあい赤ちゃん授業 区立富士中学校、区立北沢中学校、下北沢成徳高等学校</p> <p>c) プレーリヤカー</p> <p>d) 不登校児童のためのプログラミング教室 子ども基金</p>			
運営状況 (直 近 3 年間)		R6 年度	R6 年度	R5 年度
	総収入	30,717,610 円	27,163,528 円	27,323,151 円
	総支出	30,845,622 円	28,124,736 円	27,374,443 円
	損益	128,012 円	-961,208 円	-51,292 円
過去のクラウドファンディ	有 (サイト名: 世田谷コミュニティ財団、令和 3 年 1 月～2 月実施、cobaco フードバンク開設 達成額 979,00 円/目標額 800,000 円)			

団体名	一般社団法人北沢おせっかいクラブ
-----	------------------

ング活用実績	
当年度の活動 予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域子育て支援拠点 おでかけひろば ぼっこ・おでかけひろば cobacoの運営 ② 子ども食堂の運営 北五食堂 ③ cobaco フードパントリー ④ 地域の子育て支援に関わる事業全般 ⑤ 子ども家庭部児童課 プレーリヤカー ⑥ 子ども家庭課 赤ちゃんとふれあい事業（近隣の中高へ）
事業実現のた めの体制（人 材、連携・協働 関係等）	協働団体 本多劇場グループ 株式会社明後日

令和8年度 世田谷区市民活動支援補助金(せたチャレ!) 質問書兼回答書

※提案書及び見積書の審査にあたり、以下の項目について質問します。

※回答は、**令和8年5月14日(木)午後5時まで**に、電子メールに添付しせたチャレ!事務局あてにご提出ください。

●提出年月日: 2026/5/13

●団体名: 一般社団法人北沢おせっかいクラブ

NO	団体名	質問箇所	質問件名	質問内容	団体回答
1	一般社団法人北沢おせっかいクラブ	事業収支計画書 【支出】人件費	事業運営アルバイト・庶務アルバイトについて	補助事業以外にも従事される方の人件費の場合、事業の事前準備や事後対応にかかる人件費は補助対象外です。「事業運営アルバイト」「庶務アルバイト」はいずれも、補助事業のみを目的に雇用した従事員の人件費という認識でよろしいでしょうか。	補助事業のみに従事する方への人件費です。ちなみに、事業運営アルバイトの担当者は、いわゆる芸能界に係る職務経歴、人脈を持った方をお願いする予定です。
2	一般社団法人北沢おせっかいクラブ	事業収支計画書 【支出】需用費	製本印刷費について	チラシ10,000部の配送先について、配送先と配送部数の想定を教えてください。	1)池之上青少年会館 2)アpps 3)野毛青少年会館 4)代田児童館 5)代田南児童館 各500 (2500) 北沢中、梅ヶ丘中、富士中 各300 (900) 世田谷区内で演劇部のある高校(調査中) 20 各 50 (1000) 以上 4400に追加の予備を足して 5000部 残りについては世田谷区内の若者支援団体や期間中協力してくださる劇団の公演等で配布予定。
3	一般社団法人北沢おせっかいクラブ	事業収支計画書 【支出】委託料	キュレーション業務について	キュレーション業務は具体的にどのようなことをするものか、教えてください。	本件におけるキュレーション業務は、対象公演の中から、中高生が観劇するにふさわしいものかの選定を主とします。昨今、演劇界ではトリガーアラートを事前に周知することが増えました(自死・殺害、DV・性暴力、泣く・叫ぶ、大きな音・音響等)また、選定したものの、中高生が興味を持つであろう人気の公演は即日完売のものが多く、チケット販売前から主催との交渉が不可欠で、業界関係者でないと困難です。以上の観点から、株式会社明後日の力をお借りするものです。
4	一般社団法人北沢おせっかいクラブ	事業収支計画書 【支出】委託料	ワークショップ委託費について	現時点で想定しているワークショップの規模および内容について教えてください。	本年度は最低2回のワークショップを企画します。一つは、参加者10-20名規模の身体表現に重きをおいたコミュニケーション寄りの演劇ワークショップ。もう一つは著名な劇作家や俳優による朗読を中心とし、現役で活躍する著名人の演劇との出会いを中高生とシェアできるようなワークショップを企画予定です。